

米国大統領ドナルド・トランプ氏の演説における、非正規若者移民に対する差

別的な談話ストラテジーの分析

—メキシコのペニャ・ニエト大統領の移民に対する談話ストラテジーと比較して—

廣瀬由奈(大阪大学大学院生)

1. 研究背景

今日世界ではイギリスのEU離脱やアメリカのトランプ大統領当選、フランスのマクロン大統領当選などポピュリズムが席卷しており、欧米諸国などでは移民に対する排外主義的動きも顕著になっている。2016年に当選した第45代米国大統領ドナルド・トランプ氏は、子供時代に米国に入学した不法移民の在留を認めるDACA(Deferred Action for Childhood Arrivals)プログラムの廃止を決定するなど、移民に対して強硬な姿勢を取っている。また、メキシコのペニャ・ニエト大統領はアメリカに自国民の保護を訴える一方で、中米諸国から入学する移民の取り締まりを強化しており、メキシコでもポピュリズム政権が誕生しようとしている。

2. 研究目的とリサーチクエスチョン

2.1. 研究目的

米国大統領ドナルド・トランプ氏の演説・ツイッターにおける移民やメキシコの人々に対する談話ストラテジーを分析することで、移民がどのようなラベル付けがされるのかを分析する。またメキシコのペニャ・ニエト大統領の談話ストラテジーとの比較により、移民に対する談話ストラテジーが各国の指導者によってどのように異なるのか分析を行う。今まさに移民問題に悩む両国の指導者のことばを分析することは、これから外国人受け入れの大幅な増加が行われる日本の未来を占う上でも意義のあるものと考えられる。

2.2. リサーチクエスチョン

現代社会で台頭する移民排斥主義、ポピュリズムの様相を明らかにするため、以下をリサーチクエスチョンとする。

1. トランプ大統領は移民やメキシコ人に対してどのようなラベルを付けているのか
2. メキシコの指導者は移民に対してどのような談話ストラテジーを用いているか

3. 先行研究

先行研究ではいずれも選挙の勝ち負けにおいて効果的だったレトリックを記述する研究が多く、移民に対する談話ストラテジーという切り口で詳細に分析した研究は管見の限りあまり例を見ない(Mohammad and Javad,

2017). また、大統領選における他の候補者との比較分析を行う研究は見られるが (Savoy, 2017), 異なる国の指導者の談話を共時的に比較分析する研究は非常に少ない. 最後に, トランプ大統領はツイッターを効果的に用いて認知度・共感度を上げることで有名だが, これまでの研究ではトランプの発言に反応する人々も含めた研究はほとんど見られない. 本研究では先行研究では取り上げられなかったこれらの点に着目し分析を行う.

4. 理論的枠組みと分析手法

4.1. 理論的枠組み

本研究で理論的枠組みとして用いる批判的談話研究では, 権力的および差別的な価値観がどのように伝えられ, (再)生産されるのかを分析する. ここでは言語は社会において他に還元できない基本的な要素であるため, 社会あるいは社会におけるイデオロギーを研究するには言語を重視しなければならないという前提がある (Fairclough, 2003). 批判的談話研究では, 談話とは社会的実践, つまり時間的・空間的な社会のつながりの中に生きる人間の実践的な社会的行為と考えられている. つまりそれ以前の談話との歴史的関係性の中で, また, 他者から発せられる談話との関係性の中で自分を主張するものとして理解される (野呂, 2009). 国の指導者やメディアなど, 権力を持つ者は, 説得や操作を通じて人々をコントロールしており, そのような権力の行使こそが, 現代では大きな力を持っている. それ故に緻密な言語表現の談話分析が意義を持つとされている (Van Dijk, 1993). 以上のような批判的談話研究の考え方は, 本研究のように特定の言語使用が何らかの差別的なイデオロギーを反映している様を呈示する際に非常に有用であると考ええる.

4.2. データ

本稿の分析対象となるのは下記の通りである

トランプ大統領の演説約 350 点 : 2015 年 6 月~2017 年 9 月 839,461tokens 15,330 types

ペニャ・ニエト大統領の演説約 450 点 : 2015 年 6 月~2017 年 9 月 820,937 tokens 21,341 types

トランプ以前の歴代米国大統領の演説の公開コーパス 3,784,934 tokens 34,564 types

4.3. 分析手法

4.3.1. コロケーション分析

コロケーションとはある単語と別の語もしくは語以外の要素が結合する現象をいう. Stubbs (2001)は, ある語が特定の語と頻繁に共起することから, 語には評価的な意味があるとしており, これを談話的韻律 (discourse prosody)(Stubbs 2001)と呼んでいる. つまり語や句が否定的または肯定的意味を持つ言語単位と典型的に共起する場合, それらの語や句は否定的または肯定的な談話的韻律を持つとされる. コロケーション内での 2 語の結び付きの強さを示す共起強度の指標 MI スコア(語 x の出現頻度と語 y の出現頻度を語 x と語 y 共に出現する頻度と比べる指標)を用い (Church, 1991), その語を用いた国の指導者が移民に対してどのような評価を課しているのかを分析する.

4.3.2. 相互行為の談話分析

相互行為の談話分析については, オバマ前大統領が支持者を効果的に組み入れ 2008 年の大統領選の勝利に繋がったことは報告されているが (片岡, 2017), トランプ大統領の場合は批判的な反応が多いためか, 彼に対する反応も射程に入れた分析はほとんど行われていない. しかし, ツイッターではトランプ大統領に反対する立場であっても, 彼のツイートを気に入る・リツイート, リプライすることで差別的な価値観を意図せずとも共に構築・拡散してしまう構図がある. 本研究ではこのような現象をトランプ大統領と一般の人々とのある種の「共謀関係」と定義し, 分析する.

5. 分析

5.1. コロケーション分析

コロケーション分析により、トランプ大統領が移民に対してどのような評価を課しているのかを分析する。表1は、トランプ大統領がその演説において「移民」という言葉をどのような言葉と共に共起させたのかをまとめ、CoPSと比較したものである。

表1 トランプ大統領の移民に対する談話ストラテジー

Trump			CoPS		
IMMIGTANT			IMMIGRANT		
語	MI	頻度	語	MI	頻度
serial	11.17	3	undocumented	10.25	6
rapist	10.75	3	undesirable	9.19	4
perpetrators	10.32	4	arriving	8.38	3
deported	9.94	18	illegal	8.10	10
previously	9.72	7	daughters	7.89	3
applied	9.71	4	striving	7.17	3
convicted	9.24	5	sons	6.88	3
arrested	9.17	4	admission	6.84	6
illegal	8.74	83	strengthened	6.28	3

表1のように、トランプ大統領の演説では *immigrant*, *immigrants* が *serial*, *rapist*, *perpetrator*, *illegal* といった犯罪と関わる語と強く結びついているのに対し、CoPSでは他に *striving* や *welcome* など比較的肯定的な語との結びつきが多く見られたており、歴代大統領と比較してもトランプ大統領の談話では「移民」という言葉が非常に否定的な評価を持っていることが示唆される。

5.2. 相互行為の談話分析

トランプ大統領はわかりやすい過激発言を繰り返すことで人々の関心を集める炎上商法で有名である。過激なヘイトスピーチはあからさまに反対する動きを作り出すため、逆に差別をなくす動きも生み出すと言われている。しかしトランプ大統領のように炎上を引き起こし、世間に注目されることで知名度を上げようとする戦略では、彼の考えに賛同しない人も無意識のうちに彼の炎上商法に一役買っているという構図があると考えられる。片岡(2017)は、演説では演説者と聴衆は相互行為的に演説を共創するのにも関わらず、これまでの研究では聴衆の存在なども含めた、包括的なパフォーマンスとしての演説を捉える意識は希薄に感じられると述べている。そこで本研究ではトランプが効果的に用いるツイッターにおける、彼のツイートとそれに対するリプライで構成されるある種の「共謀関係」を分析する。

[データ1]

トランプのツイート@realDonaldTrump 2.2万リツイート 8.8万いいね 3.8万リプライ

2017/09/06 9:38 Congress now has 6 months to legalize DACA (something the Obama

Administration was unable to do). If they can't, I will revisit this issue!

ツイッターのリツイート機能については Murthy(2012)が Goffman の埋め込み(embedding)という概念を用いて説明をしている。Murthy(2012)は Goffman の「発話を所有する人は絶えず変化する」という考えをツイッターでのコミュニケーションに応用し、「ツイートがリツイートによって別の使用者のツイートに(人工的に)再度埋め込まれることによって、そのツイートがリツイートした人によるものだと考える新しいオーディエンスを生み出す」としている。支持者であれ、反対者であれリツイートをすることでトランプの言葉を好意的でなくとも拡散しており、その言葉がトランプの手から離れ、一人歩きを始めて拡大されてしまうと考えられる。本研究では Murthy (2012)の Goffman の理論を用いたツイッターにおけるコミュニケーションの分析を参考にトランプのツイッターにおける共謀関係の談話分析を進めていく。

5.3. メキシコ大統領との比較

ここではコロケーション分析により、ペニャ・ニエトの指導者が移民に対してどのような評価を課しているのかを分析する。表4はペニャ・ニエト大統領の演説において移民という言葉がどのような言葉と共起しているのかをまとめたものである。

表2 ペニャ・ニエト大統領の移民に対する談話ストラテジー

MIGRANTE			ペニャ・ニエト大統領の演説では移民は移民の権利・保護に関わる語と共起する傾向にあったが、しかし2015年9月2日のペニャ・ニエトの演説では移民への次に述べるような政策を正当化する様子が観察される。彼は中米から多くの移民が入国する南の国境について言及する際には、「自分の政策のおかげで人権を尊重した上での管理され秩序だった入国が可能になり、移民の扱いが改善した」とし、「移民政策はあくまで人道的で移民のためになるものである」と主張している。コロケーション分析では彼の演説はメキシコ政府が移民に寛容で人道的であるというイメージを国民に与えていることが示唆されたが、同時にそのような言葉遣いによって巧みに移民政策を正当化していることが示唆される。
語	MI	頻度	
retorno	10.55	3	
refugiados	9.75	6	
agentes	7.91	3	
tránsito	7.84	4	
derechos	6.06	16	
humanos	5.55	6	
destino	5.42	4	
primeros	5.02	3	
protección	4.23	3	

6. まとめ

トランプ大統領の談話では移民やメキシコ人が繰り返しあからさまな形で否定的なコンテクストに現れており、それによって移民、メキシコ人=不法、犯罪者というイメージが浸透していき、そのような彼の価値観はツイッターでの一般の人々との相互行為的な「共謀」によって宣伝されていった。メキシコのペニャ・ニエトの演説では人権、尊重、威厳といった言葉を巧みに使いながらニエト大統領の政策の肯定的な自己呈示を国民に行うことで移民政策が正当化されていると考えられる。

参考文献

- Church, K.W., Gale, W., Hanks, P., & Hindle, D. (1991). Using statistics in lexical analysis. Uri Zernik (ed.). *Lexical Acquisition: Exploiting On-Line Resources to Build a Lexicon*. New Jersey: Lawrence Erlbaum, 115–164.
- Fairclough, Norman (2003) *Analyzing Discourse: Textual Analysis for Social Research*. London: Routledge
- Mohammadi, M & Javadi, J (2017). A Critical Discourse Analysis of Donald Trump’s Language Use in US Presidential Campaign 2016. *International Journal of Applied Linguistics & English Literature*. 6 (5).
- Murthy, Dhiraj. (2012). Towards a Sociological Understanding of Social Media: Theorizing Twitter. *Sociology*. 46 (6), 1059–1073.
- Savoy, Jacques (2017). Trump’s and Clinton’s Style and Rhetoric During the 2016 Presidential Election. *Journal of Quantitative Linguistics*. 25 (2), 168–189.
- Stubbs, Michel. (2001) *Words and Phrases Corpus Studies of Lexical Semantics*. Blackwell.
- Van Dijk, T.A. (1993) Principles of Critical Discourse Analysis. *Discourse and Society*. 4. 249–283.
- 片岡邦好 (2017). 言語/身体表象とメディアの共謀的実践について—バラクオバマ上院議員による 2008 年民主党党員集会演説を題材に— *社会言語科学*, 20(1), 84–99
- 野呂香代子 (2009). 正しさへの問い—批判的社会言語学の試み— 三元社